

令和6年度 水道技術研修のご案内



福岡市 水道局

【目次】

1	水道技術研修のご案内	1
2	研修一覧	2
3	お申し込みから受講までの流れ	3
4	実施計画書	4~12
5	要綱・関係様式等	13~17

1 水道技術研修のご案内

福岡市は九州の拠点都市であり、水道分野においても、九州全体の水道事業の発展に貢献できるよう、人的・技術的側面から積極的な協力・支援を行っております。そのなかで、福岡市は配水管等の実技研修が可能な研修施設を有しているため、近隣の自治体等から以前より研修を受講させてほしいという要望をいただいております。

これを受け、平成27年度に近隣の自治体等にお声掛けし、試行という形で研修を実施したところ、概ね好評をいただいたため、平成28年度から本格実施いたしております。

いずれの研修も人数に限りがある上、実費相当分として受講料をご負担いただきますが、共に技術力を高めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

[対象]

水道事業体の職員

[実施内容]

福岡市水道局職員向けに実施する研修に参加していただき、合同で研修を実施いたします。研修項目は2ページ以降に記載のとおりです。共に研修を受講することで、各団体間の交流や連携も深められます。

※傷害保険等には加入していませんので、研修中におけるケガ等については、各団体での対応をお願いいたします。

※研修時間中（小休憩も含む）については、禁煙となっておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。



3 研修一覧

研修名	福岡市水道局における対象者	実施予定日	申込締切日	受講料 (税込)	予定人数 ※1	開催場所 ※2
転入・新規採用職員研修 【実技】	①令和6年度転入職員・新規採用職員【必須】 ②令和5年度中途転入・新規採用職員【必須】 ※転入職員については、過去5年以内に水道局に在籍していた職員は【任意】とする。 ③希望する職員で所属長が認めた者【任意】	5月21日～23日 (1日間で3回開催) ※応募多数の場合、5月20日を予備日としている	4月30日(火) 締切	11,000円	120人	研修所
管路等付属設備研修	①令和6年度転入・新規採用の技術職員(土木、電気、機械)【必須】 ②令和5年度中途転入・新規採用の技術職員(土木、電気、機械)【必須】 ※通常業務履行の関係上、基礎的な知識を既に習得している職員については【任意】とする。なお、習得状況は所属長が判断するもの。 ※転入職員については、過去10年以内に水道局に在籍していた職員は【任意】とする。 ③希望する職員で所属長が認めた者【任意】	6月11日～13日 (1日間で3回開催)	5月21日(火) 締切	13,200円	48人	研修所
一般及び耐震継手研修 【基礎】	①管布設業務に携わる所属の職員で、所属長が必要と判断する職員【必須】 ②希望する職員で所属長が認めた者【任意】	6月18日～6月19日 (1日間で2回開催)	5月28日(火) 締切	15,400円	24人	研修所
浄水技術研修 【基礎】	①浄水部における勤務経歴が1年目の職員【必須】 ※勤務経歴は過去の勤務実績を含む ②浄水部における直近の勤務実績から5年間以上経過した令和6年度転入職員【必須】 ③所属長が必要と判断する職員 ④希望する職員で所属長が認めた者【任意】	6月20日 (1日間)	5月30日(木) 締切	3,300円	40人	多々良浄水場
断水洗管研修 【基礎】 ※試行的に実施	①所属長が必要と判断する職員【必須】 ②希望する職員で所属長が認めた者【任意】	6月25日～26日 (1日間で2回開催)	6月4日(火) 締切	無料 (試行のため)	32人	研修所
給水継手研修 【基礎】	①給水装置の設計・工事・審査業務に携わる所属の職員で、所属長が必要と判断する職員【必須】 ②希望する職員で所属長が認めた者【任意】	7月17日～18日 (1日間で2回開催)	6月26日(水) 締切	16,500円	24人	研修所
給水継手研修 【発展】	①給水装置の設計・工事・審査業務に携わる所属の職員で、所属長が必要と判断する職員【必須】 ②希望する職員で所属長が認めた者【任意】 ※①、②ともに給水継手研修【基礎】を今年度受講予定の職員、または過去3年以内に受講した職員、ただし、配管接合を自主的に行える職員はその限りではない。	10月16日 (1日間)	9月25日(水) 締切	14,300円	16人	研修所
一般及び耐震継手研修 【発展】	①管布設業務に携わる所属職員で、所属長が必要と判断する職員【必須】 ②希望する職員で所属長が認めた者【任意】 ※①、②ともに、一般及び耐震継手研修【基礎】を今年度受講予定の職員、または過去3年以内に受講した職員、ただし、配管接合を自主的に行える職員はその限りではない。	10月22日 (1日間)	10月1日(火) 締切	13,200円	16人	研修所
大口径継手研修 ※試行的に実施	①大口径の管布設業務に携わる所属職員で、所属長が必要と判断する職員【必須】 ②希望する職員で所属長が認めた者【任意】	10月24日 (1日間)	10月3日(木) 締切	無料 (試行のため)	8人	研修所

※1 予定人数は、福岡市水道局職員を含んだ全ての人数です。

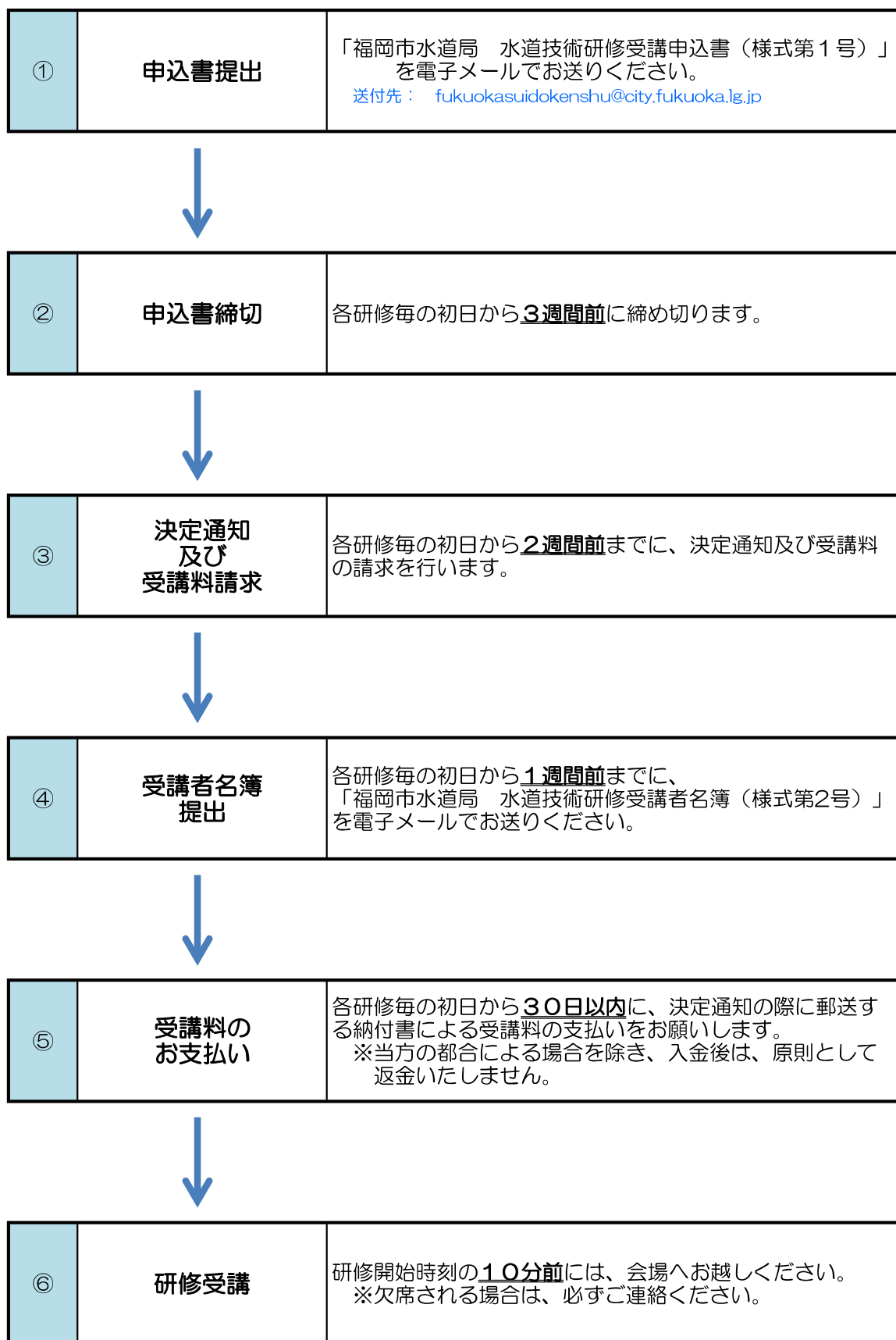
※2 開催場所について

・研修所・・・福岡県福岡市西区大字羽根戸486

<研修についての問い合わせ先>
 総務課職員係 電話：092-483-3113
 FAX：092-482-1376
 E mail：fukuokasuidokenshu@city.fukuoka.lg.jp



4 お申し込みから受講までの流れ



令和6年度 水道局職員研修 実施計画書

研修名	転入・新規採用職員研修【実技】		
体系分類	水道局職員研修＞局研修＞基礎研修＞転入・新規採用職員研修		
所管課	総務課、技術管理課		
研修概要	導・送・配・給水施設に係る現場作業の実技体験		
目標	水道事業の概要を理解するとともに、転入・新規採用職員同士が相互に連携して仕事にあたることの重要性を認識する		
対象者	①令和6年度転入職員・新規採用職員【必須】 ②令和5年度中途転入・新規採用職員【必須】 ※転入職員については、過去5年以内に水道局に在籍していた職員は【任意】とする。 ③希望する職員で所属長が認めた者【任意】		
実施期間	5月21日（火）～5月23日（木）（1日間・3回開催） ※応募が多数の場合は、5月20日（月）を予備日として調整する		
開催場所	水道技術研修所（羽根戸）		
講師	実技内容に応じた業務の担当部署		
内容	時間	担当	内容
	10:00～10:05	総務課	開講挨拶
	10:05～10:15	技術管理課	準備体操
	10:15～10:20	—	各班で自己紹介
	10:20～15:40 (60分の4コースを ローテーション)	技術管理課	○ダクタイル鋳鉄管接合 ・K形継手接合、解体 目的 実物に触れることで『ダクタイル鋳鉄管とは何か』を K形の接合・解体を通して知る
		技術管理課	○導・送・配水管弁柱類の説明、操作実技 ・充水洗管 目的 水の安定供給に必要な現場作業を体験する
		節水推進課	○給水装置 ・水道メータの取付け、取外し ・蛇口コマ替 目的 ・料金徴収に欠かせないメータの管理と作業内容 を知る ・蛇口のコマ替を通して水圧を体感する
		管修理課	○漏水防止 ・漏水探知機器等の操作 ・漏水量の推測 目的 「節水型都市づくり」の重要な施策である 漏水防止に関する調査方法を知る
	15:50～16:20	管修理課	○漏水修理 ・修理の実演（木栓打ち、特殊三割継輪） 目的 節水型都市づくりに伴う緊急時（漏水事故）の 修理方法を知る
	16:20～16:30	技術管理課	○不良継手の離脱実演 目的 離脱実演を体験することで、施工管理の重要性 を知る
16:30～16:50	総務課	意見交換、アンケート	
備考	○持参物について 筆記用具、名札、ヘルメットまたは帽子、作業服、安全靴、軍手、雨合羽（雨天時）、着替え ○昼食は、各自でご準備ください。 ※外部団体職員も受け入れる研修として実施（外部団体職員については、ヘルメット貸出可能）		

令和6年度 水道局職員研修 実施計画書

研修名	管路等付属設備研修																			
体系分類	水道局職員研修＞局研修＞技術養成研修＞業務履行力研修																			
所管課	技術管理課																			
研修概要	弁栓類の構造解説及び操作【座学及び実技】																			
目標	管路の付属設備及び給水装置に関する基礎的な知識、技能を学ぶ。																			
対象者	①令和6年度転入・新規採用の技術職員（土木、電気、機械）【必須】 ②令和5年度中途転入・新規採用の技術職員（土木、電気、機械）【必須】 ※通常業務履行の関係上、基礎的な知識を既に習得している職員については【任意】とする。 なお、習得状況は所属長が判断するものとする。 ※転入職員については、過去10年以内に水道局に在籍していた職員は【任意】とする。 ③希望する職員で所属長が認めたる者【任意】 【2班体制 1回最大16人程度】																			
実施期間	6月11日（火）、6月12日（水）、6月13日（木）【1日間・3回開催】																			
開催場所	水道技術研修所																			
講師	技術管理課																			
内容	時間	担当	内容																	
	9:30～9:40	技術管理課	事務連絡、開講挨拶																	
	9:40～10:10		座学（基礎知識）																	
	10:10～10:20		準備体操																	
	10:20～10:30		各班で自己紹介																	
	10:30～15:50 （移動及び休憩を含む）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>演習項目</th> <th>10:30 ～ 11:50</th> <th>11:50 ～ 12:50</th> <th>12:50 ～ 14:10</th> <th>14:20 ～ 15:40</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①仕切弁の操作方法と注意点、構造</td> <td>A班</td> <td rowspan="3">昼 休 み</td> <td>B班</td> <td></td> </tr> <tr> <td>①空気弁及び消火栓の構造と操作、注意点 ②ブースターポンプの構造</td> <td>B班</td> <td></td> <td>A班</td> </tr> <tr> <td>①給水装置（青銅仕切弁・スリースバルブ・止水栓・メーター周辺・貯水槽等）の構造と注意点 ②大口径メーターの取付・取外について</td> <td></td> <td>A班</td> <td>B班</td> </tr> </tbody> </table>	演習項目	10:30 ～ 11:50	11:50 ～ 12:50	12:50 ～ 14:10	14:20 ～ 15:40	①仕切弁の操作方法と注意点、構造	A班	昼 休 み	B班		①空気弁及び消火栓の構造と操作、注意点 ②ブースターポンプの構造	B班		A班	①給水装置（青銅仕切弁・スリースバルブ・止水栓・メーター周辺・貯水槽等）の構造と注意点 ②大口径メーターの取付・取外について		A班
	演習項目	10:30 ～ 11:50	11:50 ～ 12:50	12:50 ～ 14:10	14:20 ～ 15:40															
	①仕切弁の操作方法と注意点、構造	A班	昼 休 み	B班																
①空気弁及び消火栓の構造と操作、注意点 ②ブースターポンプの構造	B班			A班																
①給水装置（青銅仕切弁・スリースバルブ・止水栓・メーター周辺・貯水槽等）の構造と注意点 ②大口径メーターの取付・取外について		A班		B班																
15:50～16:20		アンケート、意見交換																		
16:20～16:30		閉講挨拶																		
備考	○持参物について 筆記用具、名札、帽子、作業服、安全靴、軍手、雨合羽（雨天時）、マスク（任意） ※安全靴等を持参できない場合は、事前に水道技術研修所にご相談ください。 ○昼食について 各自でご準備ください。 ※他水道事業体職員受け入れ対象研修																			

令和6年度 水道局職員研修 実施計画書

研修名	一般及び耐震継手研修【基礎】																				
体系分類	水道局職員研修>局研修>技術養成研修>業務履行力研修																				
所管課	技術管理課																				
研修概要	K形・フランジ形・GX形の接合・解体演習【座学、模範演技及び実技】																				
目標	配水管（小口径）の接合、解体に関する基礎的な知識、技能を学ぶ。																				
対象者	①管布設業務に携わる所属の職員で、所属長が必要と判断する職員【必須】 ②希望する職員で所属長が認めた者【任意】 【3班体制 1回最大12人程度】		★おすすめの職員★ ・新たに管布設業務に携わる方 ・継手の基礎知識及び技能を復習したい方																		
実施期間	6月18日（火）、6月19日（水）【1日間・2回開催】※応募者多数の場合：6月20日（木）【1日間・1回予備日】																				
開催場所	水道技術研修所																				
講師	技術管理課																				
内容	時間	担当	内容																		
	9:30~9:35	技術管理課	事務連絡、開講挨拶																		
	9:35~10:05		座学（基礎知識）																		
	10:05~10:15		準備体操																		
	10:15~10:30		各班で自己紹介																		
	10:30~16:15 (移動及び休憩を含む)		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>演習項目</td> <td>10:30 ~ 12:00</td> <td>12:00 ~ 13:00</td> <td>13:00 ~ 14:30</td> <td>14:40 ~ 16:10</td> </tr> <tr> <td>K形接手、フランジ（R F、G F）接合・解体</td> <td>A班</td> <td rowspan="3">昼 休 み</td> <td>B班</td> <td>C班</td> </tr> <tr> <td>G X形接手（直管、P-Link）接合・解体</td> <td>B班</td> <td>C班</td> <td>A班</td> </tr> <tr> <td>G X形接手（継ぎ輪（G-Link）、異形管）接合・解体</td> <td>C班</td> <td>A班</td> <td>B班</td> </tr> </table>	演習項目	10:30 ~ 12:00	12:00 ~ 13:00	13:00 ~ 14:30	14:40 ~ 16:10	K形接手、フランジ（R F、G F）接合・解体	A班	昼 休 み	B班	C班	G X形接手（直管、P-Link）接合・解体	B班	C班	A班	G X形接手（継ぎ輪（G-Link）、異形管）接合・解体	C班	A班	B班
			演習項目	10:30 ~ 12:00	12:00 ~ 13:00	13:00 ~ 14:30	14:40 ~ 16:10														
			K形接手、フランジ（R F、G F）接合・解体	A班	昼 休 み	B班	C班														
G X形接手（直管、P-Link）接合・解体	B班		C班	A班																	
G X形接手（継ぎ輪（G-Link）、異形管）接合・解体	C班	A班	B班																		
16:15~16:35	アンケート、意見交換																				
16:35~16:45	閉講挨拶																				
備考	○持参物について 筆記用具、名札、ヘルメット、作業服、安全靴、軍手、接合要領書（K形、フランジ形、GX形）、マスク（任意） ※安全靴等を持参できない場合は、事前に水道技術研修所にご相談ください。 ○昼食について 各自でご準備ください。 ※他水道事業体職員受け入れ対象研修																				

令和6年度 水道局職員研修 実施計画書

研修名	浄水技術研修【基礎】		
体系分類	水道局職員研修＞局研修＞技術養成研修＞業務履行力研修		
所管課	浄水調整課、設備課		
研修概要	取水から配水までの水運用、水道施設概要、浄水処理概要、水質管理、浄水薬品について		
目標	浄水処理に携わる職員に必要な基礎知識、多様な浄水施設の役割等を理解する。		
対象者	①浄水部における勤務経験が1年目の職員【必須】 ※勤務経験は過去の勤務実績を含む ②浄水部における直近の勤務実績から5年間以上経過した令和6年度転入職員【必須】 ③所属長が必要と判断する職員 ④希望する職員で所属長が認めた者【任意】		
実施期間	6月20日（木）		
開催場所	多々良浄水場		
講師	各担当所属、外部講師		
内容	時間	担当	内容
	9:45～10:05	設備課	○開講挨拶 ○事務連絡、ワークショップ（自己紹介等） 研修の目的、内容等の説明
	10:10～10:50	水管理課	○水運用について 水源から浄水場まで・配水池から家庭まで
	11:00～12:00	多々良浄水場	○浄水場の水質管理 水質管理基準、クリプトスピリウム及び水質管理の留意点等について
	12:00～13:00	休 憩（昼 食）	
	13:00～14:50	多々良浄水場	○水道施設の概要 取水、浄水、消毒、排水処理、送水等の過程、各施設について ○浄水場の概要（施設見学） 浄水場内（着水井～浄水池）の水処理過程、施設について
	15:00～16:00	薬品納入業者等	○使用薬品（PAC、苛性ソーダ、次亜塩素酸ソーダ、硫酸）について 薬品の性質、取り扱い、漏れ等の緊急時の対応方法について
	16:10～16:40	水道水質センター	○官能試験実習 臭気、味覚体験
	16:40～16:50	設備課	○事務連絡 アンケート記入
備考	○持参物について マスク、筆記用具、名札、動きやすい作業服・靴等、ヘルメット ○昼食について <u>各自でご準備ください。</u> ※外部団体職員も受け入れる研修として実施（外部団体職員については、ヘルメット貸出可能）		

令和6年度 水道局職員研修 実施計画書

研修名	断水洗管研修【基礎】											
体系分類	水道局職員研修＞局研修＞技術養成研修＞業務履行力研修											
所管課	技術管理課											
研修概要	断水洗管演習【座学及び実技】											
目標	断水洗管に関する知識を習得するとともに、実技をとおして現場作業に従事するための基礎的な技術・技能を体得する。											
対象者	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>①所属長が必要と判断する職員【必須】 ②希望する職員で所属長が認めた者【任意】</p> <p>【2班体制 1回最大16人程度】</p> </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>★おすすめの職員★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに水道局に配属された技術職（主に土木、電気、機械）職員 ・断水洗管計画を立てられるようになりたい職員 </div> </div>											
実施期間	6月25日（火）、6月26日（水）【1日間・2回開催】※応募者多数の場合：6月27日（木）【1日間・1回予備日】											
開催場所	水道技術研修所											
講師	技術管理課											
内容	時間	担当	内容									
	9:30～9:35	技術管理課	事務連絡、開講挨拶									
	9:35～9:45		各班で自己紹介									
	9:45～12:00		座学（基礎知識／ワーキンググループによる断水洗管計画作成）									
	12:00～13:00		昼休み									
	13:00～13:10		準備体操									
	13:10～16:00 (移動及び休憩を含む)		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">演習項目</th> <th style="width: 10%;">13:10 ～ 14:30</th> <th style="width: 10%;">14:40 ～ 16:00</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①ワーキンググループで作成した断水洗管計画書を基に、断水～充水～洗管のための仕切弁及び消火栓等操作（無線機を使用）</td> <td style="text-align: center;">A班</td> <td style="text-align: center;">B班</td> </tr> <tr> <td>①夾雑物排除のための立上洗管 ②貯水槽行き等の注意点</td> <td style="text-align: center;">B班</td> <td style="text-align: center;">A班</td> </tr> </tbody> </table>	演習項目	13:10 ～ 14:30	14:40 ～ 16:00	①ワーキンググループで作成した断水洗管計画書を基に、断水～充水～洗管のための仕切弁及び消火栓等操作（無線機を使用）	A班	B班	①夾雑物排除のための立上洗管 ②貯水槽行き等の注意点	B班	A班
	演習項目		13:10 ～ 14:30	14:40 ～ 16:00								
	①ワーキンググループで作成した断水洗管計画書を基に、断水～充水～洗管のための仕切弁及び消火栓等操作（無線機を使用）		A班	B班								
①夾雑物排除のための立上洗管 ②貯水槽行き等の注意点	B班		A班									
16:00～16:20	アンケート、意見交換											
16:20～16:30	閉講挨拶											
備考	<p>○持参物について 筆記用具、名札、ヘルメット、作業服、安全靴、軍手、雨合羽（雨天時）、マスク（任意） ※安全靴等を持参できない場合は、事前に水道技術研修所にご相談ください。</p> <p>○昼食について 各自でご準備ください。</p> <p>※【試行／無料】他水道事業者職員受け入れ対象研修</p>											

令和6年度 水道局職員研修 実施計画書

研修名	給水継手研修【基礎】																			
体系分類	水道局職員研修＞局研修＞技術養成研修＞業務履行力研修																			
所管課	技術管理課																			
研修概要	給水管の接合演習【模範演技及び実技】																			
目標	給水管の接合、継手管理に関する基礎的な知識、技能を学ぶ。																			
対象者	①給水装置の設計・工事・審査業務に携わる所属職員で、所属長が必要と判断する職員【必須】 ②希望する職員で所属長が認めた者【任意】 【3班体制 1回最大12人程度】		★おすすめの職員★ ・新たに給水装置に関連する業務に携わる方 ・継手の基礎知識及び技能を復習したい方																	
実施期間	7月17日（水）、7月18日（木）【1日間・2回開催】																			
開催場所	水道技術研修所																			
講師	技術管理課																			
内容	時間	担当	内容																	
	9:30～9:35	技術管理課	事務連絡、開講挨拶																	
	9:35～10:05		座学（基礎知識）																	
	10:05～10:15		準備体操																	
	10:15～10:30		各班で自己紹介																	
	10:30～15:50 (移動及び休憩を含む)		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">演習項目</th> <th style="width: 10%;">10:30 ～ 11:50</th> <th style="width: 10%;">11:50 ～ 12:50</th> <th style="width: 10%;">12:50 ～ 14:10</th> <th style="width: 10%;">14:20 ～ 15:40</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポリエチレン管（PP）の接合・解体</td> <td>A班</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">昼 休 み</td> <td>B班</td> <td>C班</td> </tr> <tr> <td>①旋盤機の取扱いについて (管切断及びねじ切り) ②硬質塩化ビニルライニング鋼管（GP）の接合・解体 ③塩化ビニル管（VP）の接合</td> <td>B班</td> <td>C班</td> <td>A班</td> </tr> <tr> <td>①サドル付分水栓の穿孔 【模範演技及び実技】 ②異種管の接合について</td> <td>C班</td> <td>A班</td> <td>B班</td> </tr> </tbody> </table>	演習項目	10:30 ～ 11:50	11:50 ～ 12:50	12:50 ～ 14:10	14:20 ～ 15:40	ポリエチレン管（PP）の接合・解体	A班	昼 休 み	B班	C班	①旋盤機の取扱いについて (管切断及びねじ切り) ②硬質塩化ビニルライニング鋼管（GP）の接合・解体 ③塩化ビニル管（VP）の接合	B班	C班	A班	①サドル付分水栓の穿孔 【模範演技及び実技】 ②異種管の接合について	C班	A班
	演習項目	10:30 ～ 11:50	11:50 ～ 12:50	12:50 ～ 14:10	14:20 ～ 15:40															
	ポリエチレン管（PP）の接合・解体	A班	昼 休 み	B班	C班															
	①旋盤機の取扱いについて (管切断及びねじ切り) ②硬質塩化ビニルライニング鋼管（GP）の接合・解体 ③塩化ビニル管（VP）の接合	B班		C班	A班															
	①サドル付分水栓の穿孔 【模範演技及び実技】 ②異種管の接合について	C班		A班	B班															
15:50～16:20		アンケート、意見交換																		
16:20～16:30		閉講挨拶																		
備考	○持参物について 筆記用具、名札、ヘルメット、作業服、安全靴、軍手、マスク（任意） ※安全靴等を持参できない場合は、事前に水道技術研修所にご相談ください。 ○昼食について 各自でご準備ください。 ※他水道事業体職員受け入れ対象研修																			

令和6年度 水道局職員研修 実施計画書

研修名	給水継手研修【発展】		
体系分類	水道局職員研修＞局研修＞技術養成研修＞水道スキル研修		
所管課	技術管理課		
研修概要	接合要領確認のための給水管の接合・解体【実技】		
目標	<ul style="list-style-type: none"> 水道局職員として求められる『技術上の監督業務』を遂行するため、水道管の接合要領を確認し、技術力の維持・向上を図る。 所属の中におけるリーダー（コーチ）としての能力向上を図る。 		
対象者	<p>①給水装置の設計・工事・審査業務に携わる所属の職員で、所属長が必要と判断する職員【必須】 ②希望する職員で所属長が認めた者【任意】 ※①、②ともに給水継手研修【基礎】を今年度受講予定の職員、または過去3年以内に受講した職員。 ただし、配管接合を自主的に行える職員はその限りではない。</p> <p>【4班体制 1回最大16人】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>★おすすめの職員★</p> <ul style="list-style-type: none"> 継手接合の技術力を維持・向上させたい方 他者への指導を行う中で、技術力及びリーダーとしての能力を向上させたい方【主任、総括主任級】 </div>		
実施期間	10月16日（水）【1日間・1回開催】、※応募者多数の場合：10月17日（木）【1日間・1回開催予備日】		
開催場所	水道技術研修所		
講師	技術管理課		
内容	時間	担当	内容
	9:30～9:35	技術管理課	事務連絡、開講挨拶
	9:35～9:45		準備体操・配管内容の説明
	9:45～14:30 *昼休み60分		○給水管の配管接合（サドル付分水栓、P P、G P、HMP） ○切管寸法の算出、管切断及びねじ切りの実習 *研修生は、自身のスキルや判断のもと配管を行う中で自分自身の課題を知る（講師はアドバイスを行う程度）。 *自主的に配管接合ができる研修生は、配管接合手順等を再確認するとともに、経験の浅い他の研修生への指導を行うことで、自身の技術の向上を目指す。
	14:30～16:00		耐圧試験・解体
	16:00～16:20		アンケート、意見交換
	16:20～16:30		閉講挨拶
備考	<p>○持参物について 筆記用具、名札、ヘルメット、作業服、安全靴、軍手、マスク（任意） ※安全靴等を持参できない場合は、事前に水道技術研修所にご相談ください。</p> <p>○昼食について 各自でご準備ください。</p> <p>※他水道事業体職員受け入れ対象研修</p>		

令和6年度 水道局職員研修 実施計画書

研修名	一般及び耐震継手研修【発展】		
体系分類	水道局職員研修＞局研修＞技術養成研修＞水道スキル研修		
所管課	技術管理課		
研修概要	接合要領確認のためのK形、フランジ形及びGX形の接合・解体【実技】		
目標	<ul style="list-style-type: none"> 水道局職員として求められる『技術上の監督業務』を遂行するため、水道管の接合要領を確認し、技術力の維持・向上を図る。 所属の中におけるリーダー（コーチ）としての能力向上を図る。 		
対象者	<p>①管布設業務に携わる所属の職員で、所属長が必要と判断する職員【必須】 ②希望する職員で所属長が認めた者【任意】 ※①、②ともに一般及び耐震継手研修【基礎】を今年度受講予定の職員、または過去3年以内に受講した職員。ただし、配管接合を自主的に行える職員はその限りではない。</p> <p>【4班体制 1回最大16人】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>★おすすめの職員★</p> <ul style="list-style-type: none"> 継手接合の技術力を維持・向上させたい方 他者への指導を行う中で、技術力及びリーダーとしての能力を向上させたい方【主任、総括主任級】 </div>		
実施期間	10月22日（火）【1日間・1回開催】、※応募者多数の場合：10月23日（水）【1日間・1回予備日】		
開催場所	水道技術研修所		
講師	技術管理課		
内容	時間	担当	内容
	9:30～9:35	技術管理課	事務連絡、開講挨拶
	9:35～9:45		準備体操・配管内容の説明
	9:45～14:45 *昼休み60分		OK形、フランジ形及びGX形の配管接合 *研修生は、自身のスキルや判断のもと配管を行う中で自身の課題を知る（講師はアドバイスを行う程度）。 *自主的に配管接合ができる研修生は、配管接合手順等を再確認するとともに、経験の浅い他の研修生への指導を行うことで、自身の技術の向上を目指す。
	14:45～16:00		チェックシート判定・耐圧試験・解体
	16:00～16:20		アンケート、意見交換
	16:20～16:30		閉講挨拶
備考	<p>○持参物について 筆記用具、名札、ヘルメット、作業服、安全靴、軍手、接合要領書（GX形、K形、フランジ形）、マスク（任意） ※安全靴等を持参できない場合は、事前に水道技術研修所にご相談ください。</p> <p>○昼食について 各自でご準備ください。</p> <p>※他水道事業体職員受け入れ対象研修</p>		

令和6年度 水道局職員研修 実施計画書

研修名	大口径継手研修													
体系分類	水道局職員研修＞局研修＞技術養成研修＞業務履行力研修													
所管課	技術管理課													
研修概要	大口径継手（φ600NS形）の接合・解体演習【模範演技及び実技】													
目標	大口径水道管の接合、解体に関する基礎的な知識、技能を学ぶ。													
対象者	①大口径の管布設業務に携わる所属職員で、所属長が必要と判断する職員【必須】 ②希望する職員で所属長が認めた者【任意】 【2班体制 1回最大8人程度】													
	<p>★おすすめの職員★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大口径の基礎知識及び技能を学びたい方（過去に受講された方の受講も可） ・大口径の維持修繕に携わる方（保全業務に携わる職員等） ・小口径と大口径の違いを学びたい方（小口径に携わる職員等） 													
実施期間	10月24日（木）【1日間・1回開催】※応募者多数の場合：10月25日（金）【1日間・1回予備日】													
開催場所	水道技術研修所													
講師	技術管理課													
内容	時間	担当	内容											
	9:30～9:35	技術管理課	事務連絡、開講挨拶											
	9:35～10:05		座学（基礎知識／小口径と大口径との相違点及び、施工管理のポイント）											
	10:05～10:10		準備体操											
	10:10～10:20		各班で自己紹介											
	10:20～10:30		大口径継手（φ600NS形）について【説明】											
	10:30～15:50 （移動及び休憩を含む）		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>演習項目</th> <th>10:30 ～ 12:30</th> <th>12:30 ～ 13:30</th> <th>13:30 ～ 15:30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①NS形継手（直管）の接合・解体</td> <td>A班</td> <td rowspan="2">昼 休 み</td> <td>B班</td> </tr> <tr> <td>①NS形継手（異形管）の接合 ②切管の手順、切管寸法の算出 ③管切断の説明（ギールカッター） ※移送式クレーン使用</td> <td>B班</td> <td>A班</td> </tr> </tbody> </table> <p>※参加人数により、1班体制の場合はA班のみになります。</p>	演習項目	10:30 ～ 12:30	12:30 ～ 13:30	13:30 ～ 15:30	①NS形継手（直管）の接合・解体	A班	昼 休 み	B班	①NS形継手（異形管）の接合 ②切管の手順、切管寸法の算出 ③管切断の説明（ギールカッター） ※移送式クレーン使用	B班	A班
	演習項目		10:30 ～ 12:30	12:30 ～ 13:30	13:30 ～ 15:30									
	①NS形継手（直管）の接合・解体		A班	昼 休 み	B班									
	①NS形継手（異形管）の接合 ②切管の手順、切管寸法の算出 ③管切断の説明（ギールカッター） ※移送式クレーン使用		B班		A班									
15:50～16:10	アンケート、意見交換													
16:10～16:20	閉講挨拶													
備考	○持参物について 筆記用具、名札、ヘルメット、作業服、安全靴、軍手、接合要領書【NS形（500～1,000）】、マスク（任意） ※安全靴等を持参できない場合は、事前に水道技術研修所にご相談ください。													
	○昼食について 各自でご準備ください。													
	※【試行／無料】他水道事業者職員受け入れ対象研修													

○福岡市水道局水道技術研修受託業務取扱要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、福岡市水道局（以下「水道局」という。）が、他の自治体等の水道技術の向上を目的とした水道技術に関する研修（以下「水道技術研修」という。）の実施に関する取扱い及び徴収する水道技術研修への参加に係る受講料（以下「受講料」という。）について定めることを目的とする。

(水道技術研修の内容)

第2条 水道技術研修の内容は、次の各号に定めるものとする。

- (1) 水道技術全般に関すること
- (2) 浄水に関すること
- (3) 給・配水に関すること
- (4) その他水道事業に関すること

(水道技術研修の受講対象団体)

第3条 水道技術研修の受講対象とする団体は、次の各号に定める者とする。

- (1) 地方公共団体が経営する水道事業体
- (2) 受講対象とすることが適当であると福岡市水道事業管理者が認める団体

(水道技術研修の受講申込)

第4条 水道技術研修の受講を希望する者（以下「受講申込者」という。）は、あらかじめ、福岡市水道局水道技術研修受講申込書（様式第1号）を提出しなければならない。

2 水道局は、前項の提出を受けた場合は、受講申込者に受講決定を通知するものとする。

(受講料の納入)

第5条 水道局から受講受入を承諾された者（以下「受講予定者」という。）は、定められた受講料を納入しなければならない。

2 前項の受講料は、水道局が定める納入期限までに、指定の口座へ振り込まなければならない。

(水道技術研修の中止等に係る受講料)

第6条 受講予定者が水道技術研修を受講しなかった場合、受講予定者は原則として受講料を負担しなければならない。ただし、次の各号に定める事由による場合は、この限りではない。

- (1) 水道局の都合により水道技術研修を中止又は変更した場合
- (2) 受講予定者が水道技術研修を受講しない旨を水道局へ事前に通知し、かつ受講料の納入が必要無いと水道事業管理者が認めた場合

(受講料の算定)

第7条 受講料は、原価、諸経費により算定するものとする。

2 受講料の具体的な算定方法は、別に定める「福岡市水道局水道技術研修受講料算定基準」によるものとする。

(損害の賠償責任)

第8条 水道技術研修の実施に伴い、水道局又は第三者に損害を与えた場合の補償費は、水道局又は第三者に故意又は重大な過失があるときを除き、申込者の負担とする。

2 水道技術研修実施に際して災害等により申込者に損害が発生した場合の補償費は、水道局に故意又は重大な過失がある場合を除き、水道局は負担しない。

(守秘義務)

第9条 水道局は、水道技術研修の実施過程で知り得た業務上の秘密及び個人情報を第三者に漏らしてはならない。ただし、申込者の承諾を受けた場合はこの限りではない。

(施行の細目)

第10条 この要綱の施行について必要な事項は、総務課長が別に定める。

(適用除外)

第11条 水道事業管理者が必要と認めた場合は、この要綱の適用を除外することができる。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

福岡市水道事業管理者 宛

福岡市水道局 水道技術研修受講申込書

1. 申込者

団体名	代表者氏名(団体の首長)

2. 受講を申し込む研修

研修名

※一研修一申込書でお願いします。

3. 受講希望人数

人数	受講希望日
人	年 月 日 ()
人	年 月 日 ()
人	年 月 日 ()

4. 受講料

円 × 人 = 円

※「水道技術研修のご案内」で、金額の確認をお願いします。

5. ご担当者の氏名

ご担当者氏名	ふりがな
ご担当者所属	
所在地	
電話	F A X
E-mailアドレス	

※ご記入の上、**電子メール(Excelファイル)**でお申し込みください。

※ファイル名は「**申込書(研修名・団体名)**」でお願いします。例)申込書(管路等付属設備研修・福岡市)

※申込者数の状況等により、一部の方又は全員が受講できない場合があります。

※研修受講を決定した場合、研修初日の2週間前までに通知します。

万が一、通知が無い場合は、お手数ですがご連絡をお願いします。

※納付書が届きましたら、受講料のお支払いをお願いします。

送付先: fukuokasuidokenshu@city.fukuoka.lg.jp

福岡市水道事業管理者 宛

福岡市水道局 水道技術研修受講者名簿

研修名	
団体名	

	氏 名	補職名または役職名	研修日	安全靴のサイズ ※貸出希望の方のみ
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

※研修初日の1週間前までに、電子メール(Excelファイル)で送付ください。

※ファイル名は「名簿(研修名・団体名)」をお願いします。例)名簿(管路等附属設備研修・福岡市)

※研修終了時に修了証書を発行しますので、氏名に誤りがないようご記入ください。

※一研修一名簿をお願いします。

※安全靴の貸出を希望される方はサイズを記載下さい。

○福岡市水道局水道技術研修受講料算定基準

(趣旨)

第1条 この基準は、福岡市水道局水道技術研修受託業務取扱要綱第7条第2項の規定に基づき、受講料の算定に関し必要な基準を定めるものとする。

(原価)

第2条 原価には、次の各号に定める費用を算入するものとする。

- (1) 人件費
- (2) 物件費
- (3) 委託料
- (4) 減価償却費
- (5) 備消耗品費
- (6) 個別負担額

(諸経費)

第3条 諸経費は、第2条第1号の費用に対し10分の2を乗じて得た額とする。

(受講料の算定方法)

第4条 研修ごとに、前2条に規定する費用について合算した額を定員数で除して得た額を基準額として算定する。

2 基準額の1,000円未満の端数を四捨五入して1,000円単位とした額に、消費税及び地方消費税率を乗じて得た額を受講料とする。

(受講料及び施設利用料の見直し)

第5条 受講料については、次の各号の定めにより見直すことができるものとする。

- (1) 水道技術研修等の内容に変更があったとき
 - (2) その他水道事業管理者が必要と認めたとき
- (その他必要な事項)

第6条 この基準に定めるもののほか、受講料に関し必要な事項は、総務課長が別に定める。

附 則

この基準は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この基準は、平成31年4月1日から施行する。